

ともだちのあ

T O M O D A C H I N O W A

特集 第1回幼稚園・ 認定こども園フェア 2018



花園幼稚園



子鹿幼稚園



千葉聖心幼稚園



千葉文化幼稚園

Contents

- P02 巻頭言 千葉大学 教授 松寄 洋子
- P03 千葉市幼稚園協会 研修会
- P06 幼稚園教育研究会(公開保育)を終えて
- P08 第1回幼稚園・認定こども園フェア2018
- P10 保育室の窓から
- P11 視察研修会を終えて
- P12 特別会員・賛助会員ご芳名 編集後記

幼稚園教育から小学校教育へのつながりを考える



千葉大学教育学部 教授
松寄 洋子

社会の急激な変革を踏まえ改訂された幼稚園教育要領が実施され、平成30年度より新しい幼児教育がスタートしました。その重点事項の1つは、幼児教育と小学校教育の接続です。今回、子どもの姿を幼小で共有できるように「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が示され発達と学びの連続性を理解することが必要となりました。そのうえで、教育課程の接続を目指し、幼児教育・小学校教育に反映させることが求められています。

千葉市では、千葉市幼稚園協会、千葉市民間保育園協議会の協力の下、幼稚園、保育所、認定こども園、小学校の教職員等から構成される千葉市幼保小連携・接続検討会議が平成28年度に設置されました。平成28年度に実施された幼保小連携・接続実態調査の結果からは、幼児・児童の交流は行われているものの、教職員の連携はあまり取り組まれていないことが明らかになりました。

その結果を踏まえ、モデル園を中心に5歳児後半の教育課程を「アプローチカリキュラム」とし、小学校へのつながりを意識して見直しに取り組んでいます。月案を中心に改訂に取り組んでいる園では、教職員間で課題を共有することを通して、保育に対する意識が高まってきました。このような教諭の意識変化は保育実践に影響を及ぼし「これまで消極的だった子どもが生き生きとしてきた」「子ども同士で話し合う場面が増えてきた」など、子どもの主体的な活動がこれまで以上にみられるようになったことが報告されています。

さらに昨年秋には、新入生保護者向けのリーフレット「もうすぐ小学生!」を作成して市内の家庭に配布しました。11月に開催された「家庭と保育者が一緒に学ぶ講演会」に参加した保護者の多くが「幼小のつながりに対する理解が深まった」に加えて「幼児期の発達や幼児教育の大切さに対する理解が深まった」と感想を寄せています。

国立教育政策研究所の調査(2018)によると、保育者がとらえた幼稚園児の「育ち・学びを支える力」の「好奇心」は「自己調整」「自己抑制」と共に小学校教師がとらえた1年生の「育ち・学びを支える力」に強く関わっています。また保護者も「育ち・学びを支える力」の1つである「好奇心」が、小学校での「学び・生活の力」の「読み書き」「言葉」「数」「分類」の能力と関わっているととらえていました。

この「好奇心」は、仲間との遊びのなかで生まれ、主体的に活動するなかで発揮されるものです。子どもが園での遊びや活動を自分事としてとらえて「なぜ」「どうして」と疑問を持つこと「何をしたいのか」「どうしたいのか」と自己選択・決定すること、さらにうまくいかないときに考えたり工夫したり友達と協力したりしながら達成することが貴重な経験となります。このような幼児期の遊びを通して育まれた「主体的対話的で深い学び」が小学校以降の学びにつながり、さらに探求を楽しむ児童生徒の姿へと発展することが期待されます。

【参考】

千葉市こども未来局こども未来部幼保支援課HP
幼児教育の推進体制構築
～幼保小連携・接続を起点とした幼児教育の充実に向けて～
<http://www.city.chiba.jp/kodomomirai/kodomomirai/shien/oujikyouiku-symposium.html>

千葉市幼保小連携・接続検討会議 2018
千葉市幼保小連携・接続実態調査結果報告書
https://www.city.chiba.jp/kodomomirai/kodomomirai/shien/documents/jittaichousa_houkokusho_h28.pdf

千葉県幼稚園協会 研修会

千葉県幼稚園協会では教育・保育力向上を目的として、毎年さまざまな研修会を企画しすべての教職員が参加しています。今年度開催された研修会の報告をいたします。

研究部会

研究部会は日々の保育実践を振り返り、他園の先生たちと考え合うことで保育者としての資質向上を目指している部会です。平成30年度は36名の先生たちが参加して『幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿』についてさまざまな角度から深く学び合いました。6月は全国幼児教育研究協会前理事長 岡上直子先生から『幼稚園教育要領をどう実践につなげるか』をテーマに教育要領の基本理解と実践につなげる糸口を、7月には千葉経済大学短期大学部教授 中島千恵子先生から映像や各園の事例を通して『子どもたちの遊びや生活の姿から幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を考える』ことを学びました。まとめの10月は共立女子大学教授 田代幸代先生に『遊びのなかの育ちを捉える』という側面から子どもたちの育ちを可視化する保育記録の取り方を教えていただき、遊びを通して子どもたちは何を学んでいるのかを読み取る視点を磨きました。

真剣に考え合う先生たちの熱意ある姿がとても印象的で、千葉市の子どもたちが豊かに育つ保育に繋がっていくと確信した平成30年度の研究部会でした。



中島先生に助言を受けながら活気に満ちたグループディスカッションになりました



「子どもの遊びをどのように捉えていくか」田代先生の話真剣に学ぶ先生たち

山崎 佳世 (由田学園千葉幼稚園)

事例研究会

事例研究会では、支援の必要な子どもたちの事例について、今年も「インシデントプロセス法による事例研究」を中心に研究会を行いました。施設見学や夏の研修では「OT(作業療法)」や「ABA(応用行動分析)」など、療育の分野でよく耳にする専門的な内容について学ぶ機会をもちました。また、映画「ちづる」の鑑賞や支援の必要な子どもの保護者から直接話を伺う機会を通して、家族の抱える現実や子どもの自立などについて、参加者一人ひとりが、深く考える時間となりました。今年度は「事例研は初めて」という先生方が多く、ここでの学びが協会加盟園全体に広がっていくことが期待されることです。

次年度もまた、どの子も活き活きと輝く保育のために事例研究会を充実させていきたいと思えます。



千葉市大宮学園を見学



ABAの研修のなかで

鈴木 由歌 (愛隣幼稚園)

特別支援教育研修会

今年の特別支援教育研修会は、5月「支援の必要な子どもたちに向き合う私のこと、仲間のこと」7月「個別の教育支援計画の活用」「保護者支援」「発達障害のある子どものきょうだいたち」「マルトリートメント(不適切な療育)による成長発達への問題」2月「気になる子の視点から保育を考える」という内容で行いました。

障害をもつ子どもの保護者支援については、保護者の体験を聴き乳幼児期から児童期に成長するとともに保護者の心持ちに変化が出てきたこと、同じクラス(園)のママ友や同じような環境にいる先輩ママのアドバイスが支えとなっていること、障害をもつ子どもたちも周りの人たちの助けがあって成長していることなど「人と人のつながり」の大切さをあらためて感じました。

また、マルトリートメントについては「何気ない一言や不適切な

療育が子どもの脳を傷つけ、子どもの適切な成長発達を阻んでいる」等の内容で、保育現場にいる私たちは保護者に対しても適切にかかわっていかねばならないと強く感じました。



研修時の様子



こどもの描く未来を支える

鈴木 朱美 (植草学園大学附属弁天こども園)

第1分科会

～子どもの気持ちに寄り添う教師をめざして～を年間テーマに掲げて、今年度はマイムランドの道化師藤井郁夫さんと平賀誠吾さんの「なりきりあそび」、東京家政大学進路アドバイザー久津摩英子先生の「わらべうたあそび」、アクアスポーツクラブ体育指導員渡辺英史先生の「幼児の心と体の健康」、カウンセラー澤登和夫さんの「教師の心と体の健康」について学びの時間を過ごしました。子どもの成長発達についての新たな認識になるほどと思うところや子どもの立場になって感じる気持ちを思い起こす貴重な機会となりました。大人の目線からだけでなく子どもの目線からも保育をしていくことが子どもの気持ちに寄り添う第一歩に

なりそうです。



パントマイムに挑戦!!



子どもたちと触れ合いながらの
わらべうたあそび

熊田 佳美 (子鹿幼稚園)

第2分科会

第2分科会は、働く女性にとって大変重要な健康についての研修から始まり、川島広江先生にアロマケアについて興味深く教えていただきました。第2回はおはなしかごの大竹麗子先生をお招きし、会場園(松ヶ丘幼稚園)の園児たちに実演もしていただきお話の世界に引き込まれる様子を間近に見ることができました。第3回は、歌いながら身体を動かす野村浩恵先生の研修でした。緊張感が解け、すぐにリラックス気分になれることを味わえました。また、グループごとに演奏の練習をし、発表も行いました。最終回は「あんふあん」の編集長でもあった、教育ジャーナリストの西東桂子先生から、保護者対応の極意をご指導いただ

きました。保護者宛のお手紙で、誤字脱字や不適切な表現等の校正作業も行い、大変役立つ内容でした。



ご指導いただいた手遊びを
披露しています



お手紙の校正をし、自己採点中

深浦 喜久雄 (ひまわり幼稚園)

第3分科会

今年度の第3分科会研修では「運動会で活かせる楽しい運動遊び」「楽しいパネルシアター」「手袋人形の製作と活用」「言葉の発達」について講師の先生を迎えて学ぶことができました。講師の先生方のパワーを直に感じるとともに、保育のなかで活かせる内容ばかりでとても勉強になりました。実際に身体を動かしたり、パネルシアターを作成したり、手袋人形を作ったりと他の幼稚園の先生方と一緒に体験することで交流をもつこともできました。また、日々の生活のなかで保育者自身が保育を楽しむことが子どもたちにも伝わっていくことを学びました。今後も一

人ひとりがさらに研修を重ねて力をつけていけたらと思います。



手袋人形を使って楽しく手遊び



まずは先生自身が楽しみましょう!

和田 由美 (千葉敬愛短期大学附属幼稚園)

第4分科会

6月、陶芸家の金山和司先生の研修では『ものづくり体験』を通して『園児たちとの出会いのなかにピュアな心があるからこそ、色々な感動や経験をつむことができる。世の中の物づくりは丸・三角・四角で出来ている』等、楽しみながら経験し感じていただきました。7月、山田吟子先生の研修では、わらべうたの『日本語のひびき』や『リズムカルな動き』を楽しく実践でき、また年齢別の読みかせ絵本から科学絵本まで、絵本を大切にし、絵本を通して想像力を広げ、内容を自分のものにする手掛りをいただきました。7月、杉山清志先生(きーくんとぴっちゃん)には、科学の力を利用し、魔法の様で楽しく不思議な、さまざまな玩具作りを教えていただきました。10月、比留間信夫先生には『子どもたちが力を生かす場の設定と活躍できる集団生活づくりを行う』『保護者への事後処理は初期対応を迅速にする』ことの大切さを、また『保護者の心理的負担の軽減のため、複数の教員・管理

職員・関係機関等と状況に合わせ連携や対応をする』『学校がチームになり対応する』ことが重要であるなど、この職業で遭遇する悩みのひとつに解決の糸口を見出さしていただけたいと思います。参加の皆様、記録の先生方、携わりいただきました皆様のご協力に感謝いたします。



頭の体操をしました



笑顔でアドバイスしてくださいました

中村 八重子 (千葉文化幼稚園)

第5分科会

現場の先生は、どんな研修を求めているのか、アンケートを参考に今年もさまざまな研修を計画しました。

言語聴覚士による「ことばの教室」では見えるものをテーマに園児を取り巻く言語環境の実体（TV・DVD・スマホ・電子ゲームなど電子メディアの普及により早い段階から接する）と言葉を覚える環境の変化により、言葉を覚えられていないのではと心配になりことばの大切さを知りました。

実技・パステル画と運動遊びでは、現場ですぐに使えると、意欲的でした。

今年度は千葉市動物公園の協力を得て、休園日に園内で研修を行っていただきました。「動物の見方」をテーマに講義や動物との触れ合い、身近な動物の飼育の仕方、休園日の動物の様子など有意義な一日になりました。

そして、今年度で最後になる小学校の授業参観と協議会。小学校の先生の現状報告は重要性と必要性を感じました。実り多い研修でした。園の実状により参加できない方もいましたが、一人でも多く研修に参加できることを願わずにはいません。



千葉市動物公園、子ども動物園にて



千草台東小学校での協議会

関原 喜恵（山王幼稚園）

第6分科会

今年度は、「年長児保育の充実を目指して」をテーマに取り組みました。「子どものけがと対応（危機管理）」ということで㈱トランステックの大生幹彦先生を講師にお迎えしました。指で描くパステル画Part2は、昨年も好評であったパステル画の作品をつくりました。つながりあそび・うた研究所の長尾高明先生に、年長児を対象とした、こどもと一緒に楽しめる歌とダンスをご指導いただき、楽しい研修会となりました。

また「現代の子育ての事情と子育て支援2018」のテーマで臨床心理士花澤佳子先生の講演がありました。

小学校の授業参観では、誉田東小学校の1年1組（道徳 こころのはっぱ）1年2組（算数 3つのかずのけいさん）1年3組（音楽 いろいろなおとをたのしもう「シンコペーションロック」）の授業を参観しました。参観後は「就学に向けて、幼稚園と小学校の

生活が円滑に接続できるように」を目的に協議会を実施しました。



指で描くパステル画 Part2



つながりあそび・うた

水野 美由起（認定子ども園白梅幼稚園）

第7分科会

平成30年度の研修会も無事に終わることができました。6月の研修では「生花」を取り入れましたが、大人の目線で取り組んでしまい「子どもたちの方が考え過ぎずに自由に生けますよ」という言葉を先生からいただき、考えさせられる場面もありました。

夏の研修では園内で起こる怪我や事故の怖さ、その対応と危機管理の大切さ、現代のアレルギーの現状、DV被害の現状などを学び、立場的にも改めてしっかりと把握し、マニュアルの作成や園全体として取り組む必要性と重要性を感じました。

また、子どもたちにも応用できるヨガは実際に体感しながらの研修となり、きつい体勢もありましたが心と身体がほぐされる気持ちのいい1日でした。先生方にとって実り多き研修であったと思います。今年度の研修を踏まえ、次年度へと繋げていきます。



マグカップに飾る草花



ヨガで深い呼吸をする

日暮 さつき（千葉女子専門学校附属聖子ども園）

幼稚園教育研究会(公開保育)を終えて

中央区

こども園に移行した4月(1)未満児保育(2)延長保育(3)園庭環境を今年度の研究課題とすることにしました。

せっかく恵まれた環境があるのだから、公開保育研究会では秋の自然に関わる園庭遊びを見学していただき、皆様にとっても有意義で、何かしら持ち帰って実践できる内容にしていこう!と準備をすすめました。雨天の場合を考えて普段の様子の写真を室内に掲示し迎えた当日は、年少児の工事ごっこや年中児の固定遊具のチャレンジ、年長児の木工まで、それぞれに取り組んで遊んでいる様子を見ていただきました。講師の仙田考先生の話も参考になり、皆様からは「勉強になりました」と感想を多数いただきました。良い機会をいただきありがとうございました。



年長児
木工あそび



年少児
工事ごっこ

米澤 真理子
(認定こども園 千葉明德短期大学附属幼稚園)

中央区

天候に恵まれた公開保育。当日ご参観いただいた先生方には、本園らしさあふれる子どもたちの姿を存分に見ていただきました。

それぞれのクラスがテーマを持ち、活動に取り組みました。全園児で行う朝礼に続き年長は「プラネタリウム作り」年中は「楽器あそび」年少は「壁面製作」リリーるーむ(未就園児クラス)は「どんぐりケーキ作り」の主活動を行いました。子どもたちは普段と違う雰囲気を感じつつも緊張することなく、友だちと遊んだり活動に取り組んだり、いつも通りに過ごしている姿を見ていただけたかと思います。

研究会を迎えるにあたり準備を進めていく中で、改めて日々の保育を見直す良い機会になりました。ありがとうございました。



プラネタリウム制作
(年長)



朝礼(全体)

市原 美衣(山百合幼稚園)

美浜区

本年は研究テーマ「つながる」の視点で、子どもたちの遊びや生活を見つめてまいりました。公開当日は、晴天の中で大勢の先生方をお迎えし、保育を見ていただくことができました。園庭や室内では、基地ごっこやお花屋さん、足湯屋さん、ガソリンスタンドごっこ、空き箱制作、ダンスショーなどさまざまな遊びが行われ、いつもの遊びをそのまま見ていただくことができました。また、5歳児による子どもミュージアム(かがく体験コーナー)を開催して3、4歳児や参観者の先生方に体験していただくこともできました。子どもたちは、はじめは緊張した様子も見られましたが、次第に笑顔があふれ元気いっぱい活動していました。子どもたちが遊びを通して成長していくためには何が必要なのかを考え、今後も研究を進めてまいりたいと思います。



子どもミュージアムでの
様子



足湯屋さん
は気持ちいいね

和田 由美
(千葉敬愛短期大学附属幼稚園)

美浜区

90名の先生方を迎えての公開保育でしたが、子どもたちは笑顔で登園し、いつも通り楽しく過ごす姿が見られました。特に、月に1回の誕生会で行うフォークダンスを特別に園庭で披露するのは嬉しかったようで、温かい手拍子のなか踊ることを楽しんでいました。各クラスの活動では学年に合わせた運動・音楽・造形・ワーク等、当園ならではの活動を見ていただきました。全体会のご質問や温かな感想の声はありがたく、より充実した保育へと繋げていこうと考えています。当園音楽講師による講演会では座学だけでなく、実際にリズム感を試す実践もあり、笑顔もこぼれ、参加者の皆様と楽しみながら学ぶ貴重な1日でした。



全園児による
フォークダンス



全体会・講演会

金親 沙紀(こざくら第二幼稚園)

花見川区

晴天の暖かい日に公開保育を行うことができました。

9クラス274名の元気な子どもたちの活動を108名の先生方と17名の来賓・園長先生にご参観いただきました。当園としては初めて一園一台の駐車場使用可として、35園の皆様にご利用いただきました。普段のありのままの保育をしようと、徒歩・バスの登降園も通常通り行い、朝の自由遊びから、グラウンドでの全体育操・石井方式絵本指導・サイバードリーム（英語）・製作・文字指導・体育指導等の保育を行いました。子どもたちは、初め緊張気味の様子もありましたが、いつもの明るく活発な姿がみられて、安心して見守ることができました。

研究会を迎えるにあたり、日々の保育を見直す良い機会になりました。多くの先生方にご来園いただき、またアンケート等、ありがとうございました。



体育指導（年長組）



絵の具遊び（年中組）

大野 晴永（さざれ幼稚園）

稲毛区

本園では100名ほどの先生方に参観していただきました。公開保育を経験したことがない職員がほとんどで、日々の保育を見直す良い機会をいただくことができました。

活動は体操教室やクリスマス製作、食育を行いました。本園では自園給食を行っており、年に数回食育活動があります。食材や栄養について学び、自ら作ることで食に興味を持ってもらうよう指導しており、公開保育の日も給食の先生や職員と会話しながら楽しく食育に参加し、最後に美味しく食べる子どもたちの笑顔がとても印象的でした。体操教室やクリスマス製作もたくさんの先生方に見ていただくなかで子どもたちは緊張することなく普段通りの姿で参加し、笑顔いっぱい研究会を終えることができました。



年少ふりかけ作り



年中おむすび作り

加藤 将弥（稲毛幼稚園）

若葉区

園庭の紅葉が色づき始めた頃、公開保育の日を迎えました。子どもたちは多くの先生方を前に、緊張することもなく朝の身支度が終わると、いつものように園庭に飛び出して昨日の続きの遊びをしたり「おばけ屋敷」にお誘いしたり、また砂場ではレストラン屋さんが開店し、たくさんのごちそうを振る舞い、参観されていた先生方と一緒に楽しそうに遊ぶ様子が見られました。また「けいさつっこ」や「ドッジボール」と生き生きと元気よく園庭で遊ぶ子どもたちもいました。たくさん遊んだ後は各クラスに戻り、礼拝や話し合いなど、落ちついたなかで過ごしました。

午後は斎藤惇夫先生をお招きし「絵本とメディア」について講演していただき、子どもたちの生活がメディアに頼りすぎず、良い絵本と出会い、また絵本を毎日読んであげることで、親子の大切な時間を与えてくれるなど、心温まるお話を聞き、充実した研究会となりました。このような機会を通して私たちも自分の保育を振り返る時をいただき感謝いたします。



園庭でどんぐりの製作



午後の講演会

安田 光太（へいわ幼稚園）

若葉区

雨あがりの研究会当日。いつもとはちょっと違った環境のなか、子どもたちは登園してきました。保育者の心配をよそに子どもたちはすぐに雰囲気慣れ、いつも通りに朝から縄跳びやボール遊びを始めました。「お客様が見てくれる!!」と張り切って短縄を練習する姿は、とても微笑ましかったです。主活動では、どのクラスの子もいつも以上に真剣な表情が見られ成長を感じました。

午後は、反省会と当園リトミック講師の加山佳美先生による『子どもの才能が開花する音楽と関わり』の講演会でした。普段の保育を振り返り、すぐに実践できる内容でとても楽しかったです。各園の先生方からのご意見も、勉強になりました。普段の保育を見つめ直すよい機会となりました。ありがとうございました。



年少組 劇遊び



年長組 紙版画

森 千晶（千城東幼稚園）

第1回

幼稚園・認定こども園

フェア2018

平成30年6月30日(土) 会場:きぼーる

フェア開催の目的

少子化、保育の低年齢化や長時間預かり、そして待機児童対策が進むなか千葉市幼稚園協会として保護者の皆様や地域の方々に、現在の各幼稚園・認定こども園の特徴や取組についてフェアを通じて紹介する。

幼稚園・認定こども園での幼児教育をフェアで体験し、幼児教育の大切さを知り、より関心を深める場を作る。
幼稚園・認定こども園教諭の人材確保を養成校と協力し、学生にフェアを通じて広く理解を求め、就職を促す。



フェア当日

幼稚園・こども園フェア 2018		6/30(土)	会場:きぼーる
1Fステージスケジュール			
10:45▶11:00	主催者挨拶 ダンス「ナマステ」基幼稚園(中央区)	12:45▶13:00	大型絵本の読み聞かせ 「せんたくかあちゃん」「よかったねネットくん」「たるまんが」 認定こども園 むまわり幼稚園(中央区) チーバくん・かそりーあふれあいタイム
11:00▶11:30	人形劇団「なんだろな」による音楽パフォーマンス 認定こども園 真洲幼稚園(美浜区) チーバくん・シェフィ・かそりーあふれあいタイム	13:15▶13:35	ダンス 「エビカニクス」「ジャングル・ロケッパ」「チエケマッコ」 郡島の台幼稚園(若葉区) チーバくん・シェフィあふれあいタイム
11:45▶12:05	千葉ロッテマリーンズ テア体験コーナー (先着30名に母子プレゼント ※11:35にステージ前にお集まりください。)	13:50▶14:10	大型絵本の読み聞かせ「はらへこあむし」 桃幼稚園(花見川区) シェフィ・かそりーあふれあいタイム
12:15▶12:35	バルシューレ デモンストレーション 九重幼稚園(中央区) かそりーあふれあいタイム	14:25▶14:35	親子スキンシップ体験 小中台幼稚園(稲毛区) かそりーあふれあいタイム
		14:45▶15:00	布絵本「おぼけがぞろぞろ」 ひばり幼稚園(美浜区)



受付

たくさんの方に来ていただきました。各園の説明を聞きたいという保護者の皆様の声が多かったです。



園紹介

今回は、園の特徴がよく出るように決まった書式を作らず、A3サイズで各園が自由に園紹介のポスターを作りました。



ステージ



ご来場の皆様に喜んでもらえるよう、たくさんの催しものを行いました。
幼稚園の楽しさや雰囲気を味わってもらえるように、いろいろな園の先生方が担当しました。
内容は絵本の読み聞かせ・ダンス・紙芝居・体操・人形劇などや、千葉市の人気者（チーバくん・ジェフィ・かそりーぬ）が大集合し、触れ合いコーナーもあり、更には千葉ロッテマリーンズによるチア体験もありました。ステージ前の観覧席は常に満員！大盛況でした。



就職コーナー

学生や幼稚園等への就職を希望する方から質問がありました。また、高校生が養成校のパンフレットをたくさん取りに来てくれました。



景品コーナー

シールラリーをしました。各コーナーに参加するとシールがもらえます。その集めたシールの数によっていろいろな景品を用意しました。たくさんの景品を賛助会員から、また、加盟園の先生から目玉商品としてお米を提供していただきました。



実行委員長挨拶

「幼稚園協会で初めてフェアを開催する」ということで、ゼロからのスタートでした。また、少ない時間で企画構成、準備などなくてはならないことが山ほどあり、フェア当日まで不安でした。しかし、今回、次世代を担う先生方に実行委員として参加していただき、フェアまでに間に合わせることができました。そして、フェアには1500人近くの来場者があったことに、次のフェアへ繋がることを実感しました。また、千葉市幼稚園協会加盟園の先生方もたくさんお手伝いに来てくださり、協会全体でフェアを行うことができました。

今回フェアを行うことで保護者の方から「もう少し各園について質問をしたかった」「このフェアに来れば近隣の園について一度に説明を聞くことができると思った」などたくさんのご意見をいただきました。千葉市在住の保護者の方が千葉市幼稚園協会での行事にこれだけの関心があるということがわかり、幼稚園協会にとっても大きく前進したと思います。

来年は、今年の反省を十分に生かし、幼稚園・認定こども園の特徴や取組をフェアでもっと知っていただき、各園が行っている幼児教育への理解を深める場を作っていこうと思います。

片岡 伸介（鏡戸幼稚園）



第2回 幼稚園・認定こども園 フェア2019

6月22日（土）開催決定
会場 千葉そとろ・1000CITY

1回目よりも更に充実した内容となるよう実行委員で企画準備を進めております。ご期待ください。

保育室の窓から



♪ほかほかのご飯を炊いて～♪

高洲幼稚園 相馬 由美子

高洲幼稚園の第二保育期は、各学年おいしい物を自分たちで作って味わう活動を楽しんでいます。年中組はおにぎり作りです。当日はまず、エプロンと三角巾を付けて、小さいお母さんに変身です。グループで分担した係の仕事があり、それぞれボール洗いやテーブル拭きなどから始めます。そして実際にお米をボールで研いでいきます。「こうやるとお米が流れないんだよね!」と小さい手で上手にボールを斜めにして水を流したり「わぁ!お水が白くなった!」と発見があったり…。日頃、お家の人がやっている姿を見たり、お手伝いをしたり経験のある子もいるようです。そして、そのお米と水を圧力鍋に入れて炊いていきます。

炊きあがって、圧力鍋の蓋を開けると「ふわぁ～」と湯気が上がり、ご飯のいい匂い。



そして、いよいよおにぎり作りです。まず塩水を手に付けます。ご飯をのせ、真ん中に穴をあけ、梅干を入れてぎゅっ!ぎゅっ!最後に海苔を巻いて出来上がりです。「おいしい!」

自分で作ったおにぎりは格別美味しいようで、満面の笑顔であつという間に2個ぺろりと食べてしまいました。みんなで作って食べるとおいしいという経験を園でたくさんしていくなかで、食べることが大好きな子どもたちになって欲しいです。

私の好きな絵本

「ぞうくんのさんぽ」
作・絵：なかのひろたか
出版社：福音館書店

いいお天気の日にぞうくんが散歩に出かけます。そこで出会ったかば・わに・かめを次々に背中に乗せる力持ちのぞうくん。次はどうなるんだろう?と、まだ言葉もおぼつかない1・2才児の子どもたちが目を輝かせて「あ、あ」と指を指して夢中になるわかりやすくわくわくする絵本です。

お芋掘り

由田学園千葉幼稚園 蔦 しおり

千葉幼稚園の園庭には畑があります。囲うフェンスはなくいつでも出入りができます。季節ごとに旬の野菜を収穫してその場で食べたり、外や保育室で調理して食べたりします。

秋には、一大イベントのお芋掘りがあります。自分たちで苗を植えて、雑草めきをしながら生長を心待ちにしていました。当日、朝から軍手をつけて芋畑に集合し、スタートと同時に夢中で土の中を掘ります。芋だけでなく、長いミミズや幼虫との出会いがあったり、お芋のツルをスカートやお化けの衣装にしたり、掘った芋畑に山を作って竹を橋代わりにかけて遊び場にしたりして遊びます。また、遊び終わったツルはやがて年長が編んで自分だけのリースにします。



お芋掘りの次は焼き芋です。年長が園庭の真ん中に大きな穴を掘り、その中にタネとなる枯葉や木の枝を集めて朝から火をつけ、自分たちで芋を入れて焼いて食べました。

食も、子どもたちも、その時にしか味わえない体験を大切に、これからも日々を過ごしていきたいと思います。

食も、子どもたちも、その時にしか味わえない体験を大切に、これからも日々を過ごしていきたいと思います。

私の好きな絵本

「パパ、お月さまとって」
作：エリック・カール
出版社：偕成社

お月さまが欲しい子どものために、パパがお月さまを取りに行きます。めくるたびに上や横に広がるページが大好きで次はどうなるのだろう?とわくわくします。エリックカールさんの絵の綺麗さに引き込まれ、心が温かくなる1冊です。

寒さに負けないからだ作り

みのり幼稚園 濱野 沙也佳

子どもたちは寒い冬でも毎日元気いっぱい外遊びを楽しんでいます。体を温める運動の一つとしてリレーを取り入れ、最初はコーンまでの直線でしたが、回数を重ねるうちに、今では大きなトラックのカーブも上手に回れるようになりました。「がんばれー!」や「次だよ!」など「チーム」ということにも目を向けられるようになり、声援や思いやりの溢れる優しい言葉が飛び交っています。



他にもボールリレーでは足の下から後ろへボールを回したり、難易度を上げ、頭の上まで腕を振り上げ後ろへ回すなど全身を使った活動で楽しみながら自然と寒さに負けないからだ作りができるよう工夫しています。「どうやったら勝てるかな?」「もっと近づいて」などと成長と共に競争心も芽生え「勝ちたい!」と考える子どもたちの顔はキラキラ輝いています。さまざまな活動を通して心も体もあたたかく大きく成長できた冬でした。

私の好きな絵本

「くろっぺのおはなばたけ」
原作：飯島敏子
文・絵：いもとうこ
出版社：ひかりのくに

くろっぺはお花が大好きで見つけるとすぐに摘んでしまっていました。お友だちにあるものをプレゼントされたことからくろっぺは素敵な感情を学びます。心温まる大好きな一冊です。

視察研修を終えて

11月22日に埼玉県さいたま市の学校法人双恵学園「そうけい幼稚園」、さいたま市子ども家庭総合センター「あいぱれっと」、鉄道博物館（てっぱく）を訪問しました。

「そうけい幼稚園」（理事長・園長 松尾 創氏）は昭和21年10月松尾 武氏（牧師・大学教授）が開園されました。

昭和22年には小学校・中学校が併設され一貫教育を目指しました。

キリスト教の幼稚園ですが、門を入ってまず目に飛び込んできたのは「鳥居」と「社」でした。これは大正・昭和初期の地域の区画整理を記念し「鎮守の森」として残されているものだそうです。

『双恵（そうけい）』という名前は、子どもを育てることは責任が重く教育は神の畏敬から始まるということで『信仰と教育』の二つの恵みのことです。各学年2クラスで大規模園にはない「柔軟な保育」「異年齢児の横・縦・斜めの交流」「全教員から全園児への指導」がなされています。

当日は、各クラスの園児のみなさんがにこにこであいさつをしてくれました。



「そうけい幼稚園」園庭の鳥居と社

創作、体操、リズムミックなどの活動の様子をみせていただきました。指導者のあたたかいまなざしとそれを信じて活動する子どもたちの笑顔が目には焼き付いています。

『そうけい幼稚園』は千葉市幼稚園協会加盟園の先生の母園でもあるということをつかがい、親近感とともに懐かしさもおぼえました。

次に、さいたま市子ども家庭総合センター『あいぱれっと』を訪問しました。千葉市でいうと『きぼーる』のような

施設です。『あいぱれっと』には〈総合相談機能〉〈専門相談機能〉〈地域の子育て支援機能〉〈企画・研究機能〉〈世代交流・活動拠点機能〉の5つの機能があります。多目的ホール、調理室、中高生活動スペース、ダンススタジオ、バンドスタジオ、冒険はらっぱ等の施設が備わっていました。当日もたくさんの方が利用されており、地域の子育てをさまざまな角度から総合的に支援されていることが実感できました。



「あいぱれっと」視察の説明

『鉄道博物館』1階では時代が生んだ車両たち36両が展示されており、当時の車両の姿や人々の生活を肌で感じることができました。2階では鉄道車両の変遷について車両模型を使って紹介されており、鉄道の歴史だけでなく、今もなお日本がめざましい発展を続けていることに感動しました。その他いろいろな体験ができる展示もあり、親子でゆっくり見学して楽しめる施設でした。

今回の視察研修におきましては『そうけい幼稚園』の松尾 創園長先生をはじめ諸先生方『あいぱれっと』に関わるさいたま市職員の皆様、お忙しいなか懇切丁寧に対応していただき心より感謝申し上げます。

島田 靖子（都賀の台幼稚園）



園庭で記念撮影



「鉄道博物館」

特別会員・賛助会員ご芳名

特別会員

植草学園大学 植草学園短期大学	淑徳大学	千葉敬愛短期大学
学校法人千葉経済学園 千葉経済大学短期大学部	学校法人千葉明德学園	千葉女子専門学校

賛助会員

(株)バード・アイ (チーバくん)

キヤノンマーケティングジャパン(株)	(株) こどものとも	千葉東ライオンズクラブ
(株) チャイルド本社	東海建設(株)	(株) 幼稚園給食
ワタナベメディアプロダクツ(株)		
(株) ジャクパ	(株) スタジオタイム	(株) 千都建築設計事務所
(株) そごう・西武店	(株) ライフイック	
そごう千葉店		
(株) 菊地商事	グンジ保安設備工業	松栄建設(株)
(株) アイドル	(株) A O K I	阿部建設(株)
鏡戸病院	旬片岡建設	(株) 桑田建築設計事務所
スタジオビッグベル	(株) セネック	セブンイレブン 千葉高洲1丁目店
子愛バビネス(株)	旬千葉美術アカデミー	千葉酪農農業協同組合
愛生支店		東洋観光(株)
(株) トランステック	旬 なかや	H I R O B A (株)
藤間(株)	古谷乳業(株)	(株) みつばコミュニティ
幼児活動研究会(株)	(株) 与志建設	(株) ライムグラフィック
(株) 渡辺洋服店		リカーショップ若まつ

千葉県保育教材業者会

(株)ジャクエツ・(株)チャイルド本社・(株)学研教育みらい・(株)千葉ワンダー・(株)フレーベル館・ひかりのくに(株)・(株)こどものとも

(順不同)

有料職業紹介事業の許可を取得しました。(厚生労働省許可番号 12-ユ-300646)

主に幼稚園、認定こども園に特化した職種を取扱いますので、お仕事をお探しの方はお気軽にご相談下さい。
公益社団法人千葉市幼稚園協会 電話043-202-5005

編集後記

桃の花がほころびだす時季となり、平成30年度も残すところあとわずかとなりました。また「平成」の終わり新しい元号次の時代の始まりを意識する時がきました。まずは平成最後の発行となる会報「ともだちのわ137号」にお忙しいなか原稿を執筆してくださいました先生方に感謝申し上げます。

新年度を迎えた5月1日より新しい時代へと変わり歴史がまた1つ刻まれます。平成はどんな時代だったかと振り返る記事やテレビ番組も多くなることでしょう。消費税導入、数々の大災害ゆとり教育、TwitterやFacebookのサービス開始、SNS利用者の増大など、良いことも悪いこともあったでしょう。皆さんの記憶にあるさまざまな思い出を今一度振り返り、新しい時代へ移

行する節目として平成時代で培ったものをこれからも活かしより良い時代へと変えていきたいものです。

今年度4月より新しい幼稚園教育要領が実施されました。時代が変わっても幼児教育の基礎は変わることはありません。私たち幼児教育に携わる者は、子どもたちが小さな手につかんでいる大きな未来を支援していく責務があります。

広報委員会ではこれからも皆様に、より興味と関心をもっていただき「ともだちのわ」が貴重なもの、また、必要とされるものになるように努力していきます。

小林 明子 (小中台幼稚園)